

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	聴覚障害者協会補助金	担当部課	保健福祉部 障害福祉課			
040305		グループ	総務担当			
補助開始年度		平成	1	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		年度

根拠法令	所沢市補助金交付規則					
分野別計画・指針	所沢市障害者計画					
関連・類似事業	各障害者団体への補助事業(障害福祉課)、団体への補助事業					
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	1 参加と協働の促進
					小柱	(2) 市民参加による福祉活動の推進
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	ユニバーサルデザインの推進		コード	コード		
1311						
補助開始の背景	身体障害者の自立と社会参加促進を図ることを目的に昭和26年に施行された身体障害者福祉法の考えに基づき、障害者団体に補助を行うことで、福祉の増進を図ることを目的に開始された。					
補助の目的	聴覚障害者の自立及び社会参加の増進を図る。また、この目的のために会を運営している団体の育成を図る。					団体への加盟数
団体における実施事業の概要	研修会等の聴覚障害者の権利を守り生活の質を高める事業や、交流会等の一般社会に聴覚障害者に対する理解を深める啓蒙活動等の事業を積極的に展開している。また、分野別に「福祉対策部」、「手話対策部」、「文化レク部」、「中途失聴部」、「婦人部」、「青年部」があり、幅広い事業を展開している。					60
						単位
						人

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		80	80	76
	補助額決算 (見込み含む)		80	80	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.03 人	0.03 人	
	事業費合計		356	362	
	市民一人当たり(単位:円)		1.1	1.1	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	団体活動実績	理事会等開催(出席)数	実績報告による	回	53	59	60
		部別実施事業数	実績報告による	回	57	48	50
	成果分析	総実施事業数	実績報告による	回	80	80	80
			%	75	74	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	93.8	92.5	1	

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input checked="" type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	団体活動の活性化	達成水準	総実施事業数80を目指す	時期	平成21年3月調査予定
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	聴覚障害者の自立や社会参加促進に向けた事業に積極的に取り組んでいる。特に手話通訳派遣事務所が実施する手話講習会においては、企画から運営に至るまでの協力を提供するなど、団体運営の意義は高い。補助額については、平成14年度と17年度に10%減、平成20年度に5%減を実施したところであるため、当面は現状の支援を継続していく。						
評価日	平成20年4月30日	記入者職氏名	障害福祉課長 森田 昇				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				